スタイル107J固定タイプ ハウジング形管継手

⚠ 警告

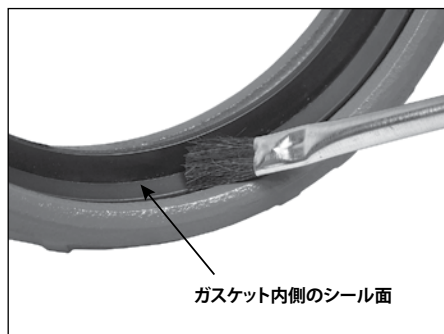
- **Quickonector配管製品の施工を始める前には、必ず施工要領書をよく読み理解してください。**
- **Quickonector製品を施工・撤去・調整する前に、配管システムの減圧・排水を行ってください。**
- **保護メガネ、ヘルメット、安全靴を装着してください。**

スタイル107Jハウジング形管継手の施工手順

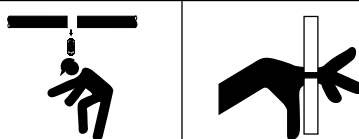
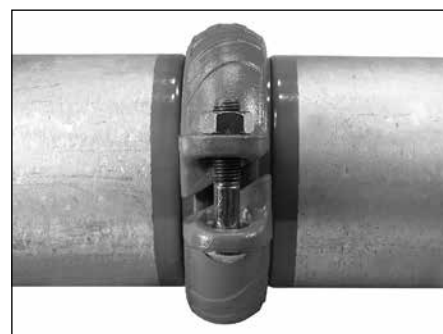
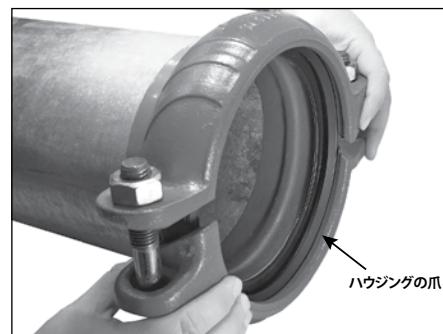
1. 継手を分解しないで下さい:スタイル107Jハウジング形管継手は施工時ボルト・ナットを取り外す必要のない設計となっています。施工者はグルーブ配管/フィッティング端部を継手に直接差込むことで容易に施工できます。

2. 配管/フィッティング端部の確認: 配管/フィッティング端部からグルーブ（溝）まで外面は滑らかで凹み、突起、溶接シーム、ロールマークがない状態で、漏れなく密着できることを確認してください。油脂類、塗装の剥離片、汚れは全て取り除いてください。グルーブ配管/フィッティング端部の外径がフレア部の許容最大寸法を超えないようにしてください。フレア部の許容最大寸法については管端加工寸法を参照してください。

留意点

- **ガスケットには潤滑剤の塗布が必要です。鉱物油系(グリース、切削油など)の潤滑剤はガスケットを劣化させるおそれがありますので絶対に使用しないでください。**

3. 潤滑剤の塗布: 潤滑剤を塗布する必要があります。ガスケット内側のシール面のみにQuick-Lubeやシリコン系潤滑剤を薄く塗布してください。鉱物油系(グリース、切削油など)の潤滑剤は使用しないでください。鉱物油系の潤滑剤はガスケットを劣化させるおそれがあります。潤滑剤塗布後、ガスケットに汚れやごみが付着しないように注意してください。**注意:** 配管の状態が不良の場合、潤滑剤を塗布してもシーリング性能は向上しません。配管の加工・状態については管端の施工要領書に記載の要件を順守する必要があります。

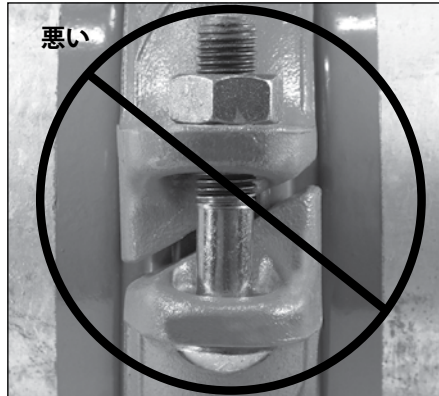
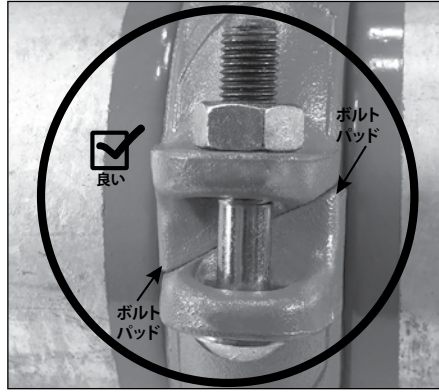
- **ガスケットがハウジングに正しく納まっていることを確認してください。ガスケットがハウジングに正しく納まっていない状態で継手を取り付けると、接合部より漏水するおそれがあります。**
- **配管/フィッティング端部に継手を取り付ける際、継手のハウジングに配管重量を加えたり押さえ込まないようにしてください。**

⚠ 警告

- **スタイル107Jハウジング形管継手は仮取付けした状態で保持すると落下する危険があります。**
- **配管/フィッティングを継手に差込む際、配管/フィッティング端部や継手の開口部に手を挟まないよう注意してください。**

4. 配管接続:配管/フィッティング端部をハウジングの両開口部に差込み接続します。配管/フィッティング端部がガスケットのセンターレグに接触するまで差込んでください。ハウジングの爪が配管/フィッティンのグルーブ（溝）に位置していることを確認してください。

注意: スタイル107Jハウジング形管継手には、Quickonector以外のフィッティングを使用しないでください。スタイル107Jハウジング形管継手をNo.60キャップに取り付ける場合、キャップのグルーブ側端部がガスケットのセンターレグに確実に接触するよう特に注意してください。

⚠ 警告

- **Quickonector固定タイプ ハウジング形管継手は、ボルトパッドの合わせ面がメタルタッチし、ボルトパッド部が完全にずれていることを確認できるまで両サイドのナットを交互に均等に締める必要があります。ボルトパッドがこれ以上ずれなくなるまでナットを締め付けてください。**
- **Quickonector固定タイプ ハウジング形管継手は、角度付きボルトパッドが均等にずれる必要があります。**
- **ナット締付け時、継手の開口部に手を挟まないよう注意してください。**

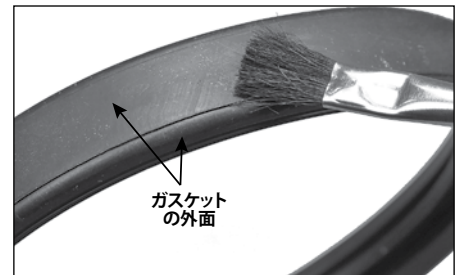
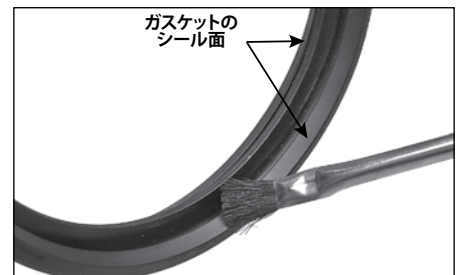
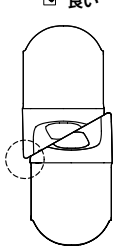
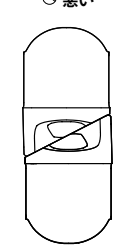
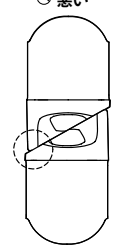
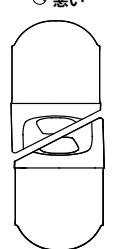
5. ナット締付け:ボルトパッドの合わせ面がメタルタッチし、ボルトパッドが完全にずれるまで両側のナットを交互に均等に締付けてください。ボルトパッドがこれ以上ずれなくなるまでナットを締付けます。ハウジングの爪がグループ（溝）と確実に噛み合い、ボルトパッドが均等にずれていることを確認してください。これは強固な接続を確保するために必要です。**注意:** ナットの過剰な締付けによりハウジングが必要以上にずれることはありません。また、ガスケットのゴム噛みを防ぐために両側のナットを交互に均等に締めることが重要です。ボルトパッドの合わせ面をメタルタッチさせるために、インパクトレンチやソケットレンチを使用してください。P3の「インパクトレンチ使用ガイドライン」を参照してください。

6. ボルトパッド合わせ面がメタルタッチし、ボルトパッドが完全にずれていることを確認してください。ボルトパッドがこれ以上ずれなくなるまでナットを締付けます。

スタイル107Jハウジング形管継手の再施工手順

1. 継手を取外す前に、減圧し完全に排水してください。

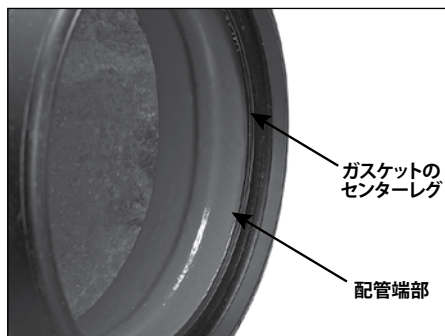
2. 「スタイル107Jハウジング形管継手の施工手順」のステップ2-3に従ってください。ガスケットに損傷や摩耗がないかチェックします。損傷や摩耗がある時は、ガスケットを同一仕様の新しいQuickonector純正ガスケットと交換して下さい。**注意:**スタイル107Jハウジング形管継手を再使用する場合、継手ハウジングの爪部近くにある歯によりできるグループ(溝)の凹みが3 mm(1/8インチ)を超えていないことを確認してください。

⚠ 注意

- **再施工の際には、ガスケットの噛みこみ/破損を防ぐため潤滑剤を塗布する必要があります。**

3. スタイル107Jハウジング形管継手の再施工: 施工を容易にし、ガスケットのゴム噛みを防ぐために潤滑剤を塗布する必要があります。Quick-Lubeまたはシリコン系潤滑剤を次のいずれかの方法により薄く均一に塗布してください。1) 配管端部のシール面全体とハウジングの内側に潤滑剤を塗布する。または、2) 上図のようにガスケットの内外面に潤滑剤を塗布する。ガスケットに鉱物油系の潤滑剤(グリース、切削油など)を塗布しないでください。鉱物油系の潤滑剤はガスケットを劣化させるおそれがあります。潤滑剤塗布後のガスケットに汚れやごみが付着しないように注意してください。

⚠ 警告

- **各接合部を目視で点検することが重要です。**
- **異常が確認された場合、システムが稼動する前に施工し直してください。**

- **一方のナットを過剰に締付けもう一方のナットの締付けが不足すると、ナットが均等に締めつけられず片締めとなり、ボルトパッドが内側へずれることがあります。また、両方のナットの締付け不足により内側にオフセット（ずれ）する場合があります。**

4. ガスケットの取付け:配管/フィッティング端部が、ガスケットのセンターレグに接触するまで差し込みます。

5. 配管/フィッティングの接続:接続する配管/フィッティングの管芯を合わせます。接続する配管/フィッティング端部をガスケットのセンターレグに接触するまで差込んでください。**注意:** ガスケットが配管/フィッティンのグルーブ（溝）にかかっていないことを確認してください。

6. 簡単な再組立:ハウジングにボルト1本を差込みナットをゆるく締め、上図のように「スイングオーバー」機能が利用できるようにします。**注意:** ボルト先端がナット端面から僅かに出るよう調整します。

7. ハウジング取付け:ハウジングをガスケットの上に取り付けます。ハウジングの爪が両側の配管/フィッティングのグルーブ（溝）に確実に噛み合うように取り付けてください。

8. 残りのボルト/ナットの取付け: 残りのボルトを取付けナットを手で締めます。楕円形のボルト首部がハウジングのボルト穴に正しくはめ込まれていることを確認してください。**注意:** ハウジングを2-3回廻し、ガスケットとのなじみを良くしてください。

9. ナットの締付け:P.2の手順5-6に従い施工してください。

インフォメーション

管サイズ		ボルトサイズ mm	ソケットサイズ mm
JIS 呼び径	管外径 mm		
65A	76.3	M10	17
80A – 125A	89.1 – 139.8	M12	22
150A	165.2	M16	27

インパクトレンチ使用ガイドライン

⚠ 警告

- **ボルトパッドの合わせ面がメタルタッチし、ボルトパッドが完全にずれるまで両側のナットを交互に均等に締付けてください。**
- **固定角度付きボルトパッドが均等にずれる必要があります。**
- **目視により施工完了が確認された後、ナットを締め続けないでください。**

インパクトレンチを使用する場合、片締めにならないよう特に注意し両側のナットを交互に均等に締付けてください。施工要領を守るため、使用するインパクトレンチの取扱説明書も必ず参照してください。

インパクトレンチを使用しますと、ナットの「締付け感覚」やトルクによる管理ができません。インパクトレンチの中には高出力のものもあるため、施工中にボルトやボルトパッド部を破損させないように十分注意してください。**目視により施工完了が確認された後は、ナットを締め続けないでください。**

インパクトレンチの電池切れや出力低下がある場合、目視による継手の施工完了が確認できるまで締付けができるように、新しいインパクトレンチやバッテリーに交換してください。

試験的にソケットレンチやトルクレンチを使用しインパクトレンチの出力を確認してください。定期的な確認もお願いします。

インパクトレンチを安全かつ適切に使用するために、常にインパクトレンチの取扱説明書を参照してください。また、継手の施工に適した正しいソケットが使用されていることを確認してください。

⚠ 警告

継手のナット締付けを行う際、工具の取り扱いを正しく行わないと、以下のような問題が生じるおそれがあります:

- **ボルトの破損**
- **ボルトパッドの損傷、破損、継手の破損**
- **接合部からの漏れ**